

令和 6 年 2 月 1 日より令和 5 年 2 月 15 日にかけて実施しました「史跡大友氏遺跡整備基本計画（第一期）令和 5 年度改訂版(原案)」に関する意見募集において、市民の皆様からは貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

いただいたご意見に対しましては、令和 6 年度から作成を開始する大友氏遺跡歴史公園の基本設計に活かしていきたいと考えております。

また、ご意見に対しまして本市の考え方をとりまとめましたので、お知らせします。

#### 【応募概要】

- |          |                                |
|----------|--------------------------------|
| (1)募集期間  | 令和 6 年 2 月 1 日～令和 6 年 2 月 15 日 |
| (2)意見提出数 | 11 人 (29 件)                    |
|          | ・ 電子申請(3 件)                    |
|          | ・ FAX(6 件)                     |
|          | ・ 郵送/窓口(20 件)                  |

## 史跡大友氏遺跡整備基本計画(第1期) 令和5年度改訂版 への市民意見と回答

- ・ 募集期間 令和6年2月1日～令和6年2月15日
- ・ 意見提出者数 11人 (意見件数 29項目)

### 1.大友氏館跡の復元・整備に関すること

	ご意見	市の考え方
1	大友館のプランニングを早くして欲しい。文化庁に一日も早く名乗りを上げてください。	
2	各地で城の天守閣の復元はあるが、戦国時代の大名館の復元は聞かないので、大友氏館跡の復元は価値が高い。庭園に続き、大友館中心建物(大おもて)の復元を大友宗麟公生誕500年となる2030年に完成してください。	「史跡大友氏遺跡整備基本計画(第1期)」(以下、整備基本計画)では、整備の考え方・第1期整備対象範囲における整備ゾーニングを定めております。改訂計画策定後の中期整備においては、歴史体験(復元)ゾーンにあたる大友館の中核施設が存在した中心建物域や大門・築地等の外郭施設の一部について、2030年までの立体復元を目指し、関係機関とともに検討・協議を進めてまいります。
3	現在発掘中で外部から見えにくいので、10号線に面した側の堀と築地を早く復元し、存在感を高めてもらいたい。	
4	「大おもて」以外の建造物に関して、復元する建物の詳細、どうする予定なのか明確でない。	
5	「大おもて」を伝統工法に基づいて内部構造まで復元し、利用者の見学に供したり、各種催し利活用するためには、トイレや冷暖房調節・防災設備といった機能を備えた施設を近接して配置する必要がある。現代工法を一部利用した管理棟として、中心建物域にあった「大おもて」に隣接する建物の復元を検討してもよいのではないか。	大おもては、発掘調査成果と史資料に基づき、戦国時代の工法により忠実に再現し、訪れた方々が臨場感溢れる歴史空間を体験してもらえることを目指しています。歴史体験ゾーンでは、来訪者の利便性を鑑み、本事業を推進する上で、今回頂いた意見を参考にさせていただきます。
6	「大おもて」本殿の東北側に突き出ている式台か廊下と推定される建物も同時に復元できる様検証していただけたら。	ご意見いただいた施設についても、「大おもて」を構成する施設として、復元整備に向けて検討しています。
7	将来、歴史文化観光拠点施設ができた時の動線等も考えて整備してほしい。	整備基本計画の動線計画に、歴史公園内の動線についても示しておりますが、今後の検討の参考にさせていただきます。
8	トイレは交流館以外に設置できないか。	トイレは、歴史公園の北・南西の位置にあたる利便施設用地にも設置を考えてまいります。

## 2.情報発信及び活用に関すること

	ご意見	市の考え方
1	大友宗麟公生誕五百年を迎えるにあたり、NHK大河ドラマ放映化に向けて尽力いただき、県と市の活性化に努力していただきたい。	<p>歴史文化観光拠点施設が整備されるまでは、仮ガイダンス施設「南蛮BVNGO交流館」を拠点に、大友氏遺跡の価値などについて解説するとともに、大友氏や南蛮文化の紹介、イベントや活動の告知等をホームページやSNSを通じて発信してまいります。</p> <p>また、大友氏遺跡の魅力や大友宗麟の功績を多くの人に知ってもらえるよう、市内外を問わずあらゆる機会を捉えて情報発信を行うとともに、大友宗麟公生誕500年となる2030年に向けて、歴史公園整備に対する機運を高めていく取組を行っていきます。</p>
2	未だ大友氏史跡の場所を知らない方が多くわかり易い遺跡と所在をPRしてもらいたい。	
3	県外の在京大分県人会、神奈川大分県人会、関西大分県人会、福岡大分県人会の会員にも、中世の大友府内の町とその中心になる大友館をPRしてもらいたい。	

### 3.歴史文化観光拠点施設・南蛮BVNGO交流館に関すること

	ご意見	市の考え方
1	「大友歴史館」を設立し、観光客にも見せていただきたいと思っております。	
2	博物館等を建築し、大友氏400年の歴史を掘りおこし、県民の誇りとして継承してもらいたい。	
3	大友宗麟は戦国時代に一早く外国と交流し国力を上げた地方大名。この歴史を天下にしらしめる歴史史料館が必要です。観光都市としての機能を有する施設が必要です。	
4	すでに市内には文化交流施設として、コンパルホール、ホルトホール、アートプラザがあり、今年4月には複合公共施設が荷揚町小学校跡地で開業予定であり、歴史系機能を担う新施設に「文化系機能」「賑わい機能」といった他施設と重複した機能を持たせなければならない必要性は薄れている。そのために予算規模が拡大することも市民の理解を十分に得られない可能性がある。市の施設全体の在り方や統合再編の問題のなかで総合的に検討し、整備計画を進めていく必要があると考える。	大友氏遺跡歴史公園内に設置する歴史文化観光拠点施設（以下、拠点施設）につきましては、令和18年度（2036）までに整備することを計画しています。拠点施設は、大友氏遺跡や大友氏の調査研究・歴史ガイダンスや展示・史跡地と一体となった歴史体験機能を主体とした機能に観光・食・交流といった機能を融合した施設の検討を考えております。 今回頂きました貴重なご意見につきましては、整備計画を進めるうえでの参考にさせていただきます。
5	発掘遺跡展示はもちろんのこと、立花家に残る「大友家文書」や大分県先哲史料館の豊後武士団の「各氏の家文書」等の常設あるいは定期展示コーナー、定期的に講演ができる小ホール（150人程度）併設。ボランティアガイドの勉強や待機場所（2, 30人ほどの会議ができる喫茶コーナー）が欲しい。	
6	2036年まで使用延長する南蛮BVNGO交流館の機能を先行して復元管理棟へ移転することも検討すべき。たとえば、佐賀城本丸歴史館では復元建物内に展示機能を持たせており、近年全国各地の施設で導入が進んでいるプロジェクションマッピングであれば、「大おもて」内部や管理棟内の限られたスペースを展示空間として有効活用できる。	今回復元される中心建物「大おもて」は、これまでの発掘調査成果や文献・建築史等の他分野の調査研究を踏まえ、本質的価値を具体的に示せるよう立体復元を目指しております。立体復元された建物内では、史料に即した多くの年中行事の再現を行うことで、立体復元された建物やその空間の価値をさらに引き上げることが期待されます。また、復元される建物は、当時の建築構造や様式を現地で学ぶことができ、それ自体が歴史体験施設のひとつです。 そのため、復元建物内には、展示機能としての設備を設置することは想定しておらず、これを補足するために、便益施設や歴史文化観光拠点施設に展示機能を設ける計画です。
7	2037年には大分市歴史資料館が開館50年を迎え、今後の存続・利用が問題になってくるのが想定される。そこで「歴史文化観光拠点施設」に代わり、 <u>大友関係の文化財の展示も含めた歴史資料館</u> を「 <u>利便施設B</u> 」に移転・新設し、 <u>現交流館は「大おもて」に近接する管理棟に移転して中世府内町や大友館跡のガイダンス・管理施設に特化</u> することも一案として検討してはどうか。	

8	大分市歴史資料館や埋蔵文化センター（県立埋蔵文化財センター）での大友氏関連展示は一般向けには十分だが、遺跡公園の施設では大友氏の資料は専門的であってほしい。	
9	館跡は、周囲を築地屏で囲み、主殿とそれに付属する2,3の建物を計画と聞いているが、記念館（歴史文化観光拠点施設）には大友氏館全体の復元縮尺模型（1/40程度）もほしい。	拠点施設における歴史系機能の取組にあたっては、様々な来館者が訪れることを想定し、大友氏館跡に隣接するといった特色を活かした方法について検討していきたいと考えています。
10	歴史文化観光拠点施設の屋上に展望台を設け大友館の全容が俯瞰して見えるようにして規模の大きさを体験できるようにして頂きたい。	
11	現在交流館で流している動画のリニューアルは必要。ドラマ仕立てにして有名俳優を起用するとか。NHKの歴史番組のようなものが望ましい。毎年テーマを変えて15分を2本立て、または数人の役者による寸劇を毎月1回とか、そうすることによってリピーターを増やせる。	大友氏遺跡の仮ガイダンスである南蛮BVNGO交流館は開館から5年が経過しております。拠点施設の開館を令和18年（2036）に延期したことから、整備の進捗を踏まえながら展示内容の更新・変更について検討します。

#### 4.交通アクセスに関すること

	ご意見	市の考え方
1	2030年整備完了の時、お客様がいかに無理せず楽しく歩ける動線を考える必要がある。理想的には、大門から入って白い玉砂利を踏みしめ、大表を見学、その後庭園にまわってもらうのが良い。いかにして大門に回ってもらうか。駐車場は予定地で良いのか。高齢者が貸切バス等で来た場合、大門の前で降車できないか。	基本計画には、歴史公園内の動線の主入口は、歴史的にも東側正面の大門として計画しています。駐車場については、利便施設Aから唐人町跡の復元された町並空間を經由し、大門に回ってもらうように園路動線を設計に反映したいと考えております。また、高齢者や障がいのある方の来訪にも対応できるように、利便施設B前にバリアフリー入口を設けるとともに園路整備についても同様の配慮をすることとします。
2	歴史文化観光拠点施設等の整備について計画の西側地区ではなく、北側の利便施設Aに隣接する土地を買収し国道に面した場所に建設した方が良い。現行計画では駐車場と館正門が離れており移動が不便。	また、歴史文化観光拠点施設等の計画へのご意見につきましても、今後の参考にさせていただきます。

#### 5.公開・活用に関すること

	ご意見	市の考え方
1	大分駅を基点に府内城・遊歩公園（西洋音楽、病院や外科手術等多くの銅像）、大友館と史跡コースをアピールし高崎山の猿や水族館に並ぶ観光コースにしてもらいたい。	大友氏遺跡歴史公園の周辺には、大分元町石仏、江戸時代の府内の中心であった府内城跡といった文化財の他、大友氏にゆかりのある寺社仏閣が今も伝わり、豊後府内に花開いた南蛮文化を紹介する彫刻やレリーフが建てられています。中心市街地に残る歴史的施設との連携を図り、既存の文化財説明板やパンフレットを活用し、戦国時代から江戸時代につながり・回遊性を意識した府内の歴史散策ルートを検討します。

## 6.その他

	ご意見	市の考え方
1	宗麟、ザビエル、アルメイダ三者の銅像の建設を望みます。	今後の参考にさせていただきます。
2	県とも協力してほしい。	観光客や歴史愛好家の来訪を促すために、大分県文化課等との連携を強化し、積極的に整備を進めたいと考えています。
3	民を奴隷として輸出し武器を輸入していた大友宗麟を崇拝するのはやめてほしい。	大友氏館跡は北部九州、西国の戦国時代史の重要な中心地のひとつであり、方二町の室町幕府の規範を遵守する守護館の典型を示すもので、歴史的な重要性から2001年に国の史跡として指定されました。 本市では、そうした国指定史跡である大友氏遺跡の価値を次世代に継承することを目的とし、整備基本計画において歴史公園の整備を行うこととしています。
4	国道10号線を通る時にここは大友遺跡や庭園の場所と誰もが認識でき、2030年には宗麟公生誕500年で大友館が再現されることを市民に公表し、これから6年先の夢を与えてほしい。言葉を可視化し、市民が共有できる夢にしてほしい。	「大おもて」の整備着手をきっかけに、大友氏遺跡歴史公園の完成に向けた機運を高めるため、歴史イベントの実施や様々な媒体を通じて多くの世代や市民等に伝わる情報発信に取り組みます。